

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・コロナによる研修減により、学びの機会が減り職員レベルが低下している。	・新人職員や外国人職員がしっかりケア内容や把握でき、知識として身につけられる。 ・現在の自身のケアについて見直し、改善できるようにする。	・オンライン研修へ参加する。 ・問題に合わせた、内部研修を実施する。 ・ケアの基礎について、今一度見直し、再確認を行ったうえで自身のレベルに合わせた研修へ参加する。 ・なぜ、何のために行うのかを理解し、新人、外国人職員へしっかりと説明しながらケアにあたる。	8ヶ月
2	25	・コロナ禍により、認知症症状の悪化、身体機能の著しい低下がみられている。	・ちょっとした工夫でできるを増やせる。 ・レクリエーションの種類を増やし、身体機能が向上できる。 ・多方向の視点から捉え、職員の意識向上を図り機能低下を防ぐ。	・ヒヤリハットの数を増やし、インシデントを防ぐ。 ・職員の気付きを増やし、情報を共有する。 ・多職種に協力を仰ぎ、こまめに相談をし助言や情報を得てケアに活かす。 ・過剰介護せず、できることを引き出す。	12ヶ月
3	37 48 49 50	・コロナ禍により、利用者が求めるような外出支援や気分転換が出来ていない。	・コロナ禍が落ち着いたら、外出の機会を増やせる。 ・家族と一緒に掛ける。 ・上記を実施し気分転換ができるようにする。	コロナが落ち着いたら・・・ ・お店へ行き、好きなものを自分で選び購入する。 ・外食へ行き、普段とは違う雰囲気の中、好きなものを食べる。 ・家族に協力を仰ぎ、ドライブなど一緒に外出する。	12ヶ月
4	2 3	・地域住民との交流が少ない。 ・近隣の方の行事等への参加率が低い。	・お知らせなどの配布や掲示を行い、施設名等を覚えてもらう。 ・気軽に立ち寄れる雰囲気にする。 ・地域住民以外とも、交流を持てる。	・ホーム外に施設の情報の掲示と、お知らせの配布をする。 ・職員一人ひとりが明るい雰囲気を作る。 ・地域の企業や団体に足を運び、交流を持てるようにする。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。